

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	有馬 留以子
取得学位	家政学修士
担当科目	生活支援技術V
専門分野	家政学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	(1)Requirement of GSH for L-methionine transport,and γ-glutamyltransferase activity of fehrlich ascites tumor cells H.Shinozaki,M.Hirasawa,N.Oribe,T.Ohno,M.Furukawa,R.Higashi,T.Higashi and Y.Sakamoto Medical Journal of Osaka University.Vol.31,No.3-4,pp67-73(1981) (2)Quantitaive analysis of zonulae occudentes between oviductal epithelial cells an diestrous and estrous stages in the mouse;freeze-fracture study K.Toshimori,R Higashi and C.Oura The Anatomical Record,Vol.206,pp257-266(1983) (3)Purifications and some properties of mouse γ-glutamyltransferases from adult kidney and neonatal liver N.Tateishi,R.Higashi,I.Takamisawa and Y.Sakamoto Medical Journal of Osaka University,Vol.34,No.1-2,pp1-8(1983) (4)Distribution of intramembranous particles and filipin-sterol complexes in mouse sperm membranes; polyene antibiotic filipin treatment K.Toshimori,R Higashi and C.Oura The American Journal of Anatomy, Vol,174,pp455-470(1985) (5)Filipin-sterol complexes in golden hamster sperm membranes with special reference to epididymal maturaition K.Toshimori,R Higashi and C.Oura Cell and Tissue Research, Vol.250,pp673-680(1987)

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	石橋 剛士
取得学位	博士（医学）
担当科目	武道（鍼灸）
専門分野	運動学
教育研究業績 （著書・学術論文等）	【著書】 ・アクティブな生活をととした“幸福を求める生き方”ーライフ・ウェルネスの構築を目指してー（2018）株式会社ミライ 【学術論文】 ・（単著）柔道部夏期合宿における心理・生理的变化から見たコンディションに関する基礎的研究.（2010）平成21年度日本体育大学大学院体育科学修士学位論文 ・（共著）中学校柔道授業における「形」構築の試み.（2012）武道学研究 45（1） ・（共著）合宿におけるポジティブなセルフトークが柔道選手の心理的側面に与える影響ーPOMS 短縮版を用いてー（2013）熊本学園大学論集『総合科学』19（2） ・（単著）女子柔道選手における稽古前の筋疲労が稽古時の好中球機能に及ぼす影響.（2014）平成25年度弘前大学大学院医学研究科社会医学講座博士學位論文 ・（共著）Special Judo Fitness Test における試技の違いが結果に与える影響.（2015）東海大学経営学部紀要（3） ・（共著）中学校柔道授業における戦術学習の提案（第1報）ー授業で使える「形」を用いてー（2017）講道館柔道科学研究会紀要 16 ・（共著）Special Judo Fitness Test を用いた大学男子柔道選手の体力評価.（2018）東海大学スポーツ医学雑誌 2018 ・（共著）中学校柔道授業における戦術学習の提案（第2報）ー授業で使える「技をかけるきっかけ」を用いてー（2019）講道館柔道科学研究会紀要 17

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	牛ノ浜 奈央
取得学位	平成 20 年 3 月 九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科 卒業（学士） 平成 30 年 3 月 長野県立看護大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程 卒業（看護学修士）
担当科目	小児看護学援助論
専門分野	小児看護 サブスペシャリティー小児がん看護
教育研究業績 （著書・学術論文等）	学会発表（以下5つ） 1. 幼児期の成長発達に関する影響因子としての保護者の認識～幼児期におけるテレビ視聴時間～ 2010 年 6 月 日本小児看護学会 2. 入退院を繰り返しターミナル期を迎えた子どもと家族の希望を支える看護の検討 2014 年 7 月 日本慢性看護学会 3. 終末期にある小児がんの子どもの主体性を尊重したケアの検討 —子どもを亡くした母親が捉えた子どもの意向— 2019 年 11 月 日本小児がん看護学会 4. アトピー性皮膚炎をもつ子どもへの発達段階に応じたスキンケア指導の一例～遊びを交えた主体性を引き出す関わりと母親の変化～ 2022 年 7 月 5. 治療効果が乏しく転院を希望した子どもと家族の思いとそれを支える看護～一事例を通して～ 2022 年 7 月

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	川原 一洋
取得学位	医学博士
担当科目	精神看護学援助論
専門分野	精神一般、児童思春期精神医学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	英文論文 1. Kawahara K,Ushijima H,Usami M,Takebayashi M.No Associations of Psychological Symptoms and Suicide Risk with Disaster Experiences in Junior High School Students 5 Years After the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami. <i>Neuropsychiatr Dis Treat.</i>2020;16:2377-2387. 2. Estrada CA,Usami M, Satake N,Gregorio E Jr, Leynes C, Balderrama N, Fernandez de Leon J,Concepcion RA,Tuazon Timbalopez C,Tsujii N,Harada I,Masuya J,Kihara H,Kawahara K,Yoshimura Y,Hakoshima Y,Kobayashi J.Current situation and challenges for mental health focused on treatment and care in Japan and the Philippines-highlights of the training Program by the National Center for Global Health and Medicine . <i>BMC Proceedings</i> 2020,14(Suppl 11) :11 doi:10.1186/s12919-020-00194-0. 英文症例報告 1 . Kawahara K, Jono T, Nishi Y, Ushijima H, Ikeda M, Effects of testosterone therapy on bipolar disorder with klinefelter syndrom. <i>General Hospital Psychiatry</i>,May-Apr;37(2);192.1-2(2015) 著書 1 . 川原一洋、池田学 前頭側頭葉変形症(F T L D) 認知症予防テキストブック p.65-86,クオリティケア,(2015) 和文症例報告 1 . 川原一洋,城野匡,本田由美,横田周三,佐々木博之,牛島洋景,池田学 うつ病症状が初発症状であった血管内大細胞型B細胞リンパ腫の一例 <i>九州神経精神医学</i> 58(1),22-28,2012

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	川原 庸子
取得学位	平成 31 年 3 月慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学研究系 医学博士号 (第 4978 号)
担当科目	精神看護学援助論
専門分野	精神医学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	(学術論文) 1. Kawahara YY, Hashimoto S, Mimura M, Fujisawa D, et al: The practice of suicide risk assessment for patients with self-harm in an emergency room and its associated factors - a single-center, cross-sectional study. Japanese Journal of General Hospital Psychiatry 33(4) : 417-428,2021. 2. 川原庸子：自殺未遂者への精神療法的アプローチ：自殺未遂者へのアプローチ。自殺予防と危機介入. 39(2).73-80, 2019 3. Kawahara YY, Hashimoto S, Mimura M, Fujisawa D, et al: Predictors of short-term repetition of self-harm among patients admitted to an emergency room following self-harm: A retrospective one-year cohort study. Psychiatry Research 258:421-426, 2017. (著 書) 1. 精神科レジデントマニュアル 第2版(共著)：三村將 編集。「自殺念慮(希死念慮)」「自殺とポストベンション」「医療者のセルフケア—陰性感情の扱い方、バーンアウト—」pp.99-102, p.288-289, p.321-322,医学書院,2022. 2. レジデント(Resident)4月号：レジデントのための救急外来で出会う精神症状とその対処 (共著)：「薬物過量内服やリストカットを繰り返す症例」医学出版；p.16-24, 2020. 3. 救急医療から地域へとつなげる自殺未遂者支援のエッセンス HOPE ガイドブック (共著)：日本自殺予防学会監修。「ケース・マネージメントの実施に際して必要な準備」へるす出版；p.59-62, 2018. 4. 救急現場における精神科的問題の初期対応 PEEC ガイドブック改訂第2版 (共著)：日本臨床救急医学会監修。「救急医療機関における精神症状の評価」へるす出版；p.40-42, 2018. 5. 子どもを持つ親が病気になった時に読む本：伝え方・暮らし方・お金のこと (共訳)：ポーラ・ラウフ、アンナ・ミュリエル著，慶應義塾大学医学部心理研究グループ訳，「年代別 子どもは病気をどう理解し，親はどう対応すべきか」創元社；p.212-225, 2018. 6. 精神科レジデントマニュアル(共著)：三村將 編集。「自殺念慮(希死念慮)」「自殺とポストベンション」「医療者のセルフケア—陰性感情の扱い方，バーンアウト—」p.95-98, p.263-264, p.297-298, 医学書院, 2017.

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	鍬田 晃子
取得学位	修士課程
担当科目	小児看護学概論
専門分野	小児看護
教育研究業績 (著書・学術論文等)	
平成24年11月25日	第22回日本新生児看護学会学術集会 家族とともに織りなす新生児のケア—新しい家族を育む環境を医療の場につくる—合同シンポジウム座長
平成25年8月22日	訪問看護推進事業熊本県のNICUの現状 講師
平成25年9月8日	平成25年度熊本大学公開講座 小児訪問看護—医療的ケアを行う障害児の看護の基礎—講師
平成25年10月4日	平成25年度長期療養児支援事業研修会 長期療養を必要とする子どもと家族の支援について講師
平成25年10月26日	熊本県看護協会「子どもの頑張る力を引き出す関わり～親の危機的サポート」講師
平成26年1月10日～8月29日	熊本県看護協会 第45回日本看護学会—ヘルスプロモーション—学術集会抄録選考委員会
平成26年6月18日	平成26年度低出生体重児等支援に関わる保健師研修会 講師
平成26年8月4日	訪問看護推進人材育成事業重度心身障害児の退院支援の現状と課題 講師
平成26年10月15日～平成26年11月2日	熊本市重症心身障害児等在宅支援推進会議委員 訪問看護推進事業 訪問看護の品質管理～障害をもつ小児の在宅療養移行支援～講師
平成26年11月24日	平成27年度熊本県看護学生実習指導者講習会演習指導
平成27年2月10日	平成26年度専門看護師・認定看護師・看護管理者との交流会におけるパネルディスカッションシンポジスト
平成28年12月11日	障がい児訪問看護研修会 講師
平成28年11月10日	神戸研修センター病棟看護職が担う医療依存度の高い小児患者の退院支援・調整講義「医療的ケアが必要な子どもの在宅生活と多職種連携」と演習
平成29年5月19日	四国広域で考える新生児医療における災害対策シンポジウム 講師
平成29年6月14日	沖縄県看護協会 災害時における周産期看護講師
平成29年6月1日～平成31年3月31日	沖縄県周産期保健医療協議会専門部会委員会「在宅療育・療養環境整備部会」就任
平成29年8月19日	日本小児看護学会 第27回学術集会テーマ セッション 熊本からの発信！在宅で医療的ケアを行っている子どもたちと熊本地震 ファシリテーター・

平成 29 年 10 月 20 日 平成 29 年 11 月 12 日 平成 30 年 2 月 1 日	話題提供者 平成 29 年度第 2 回沖縄県周産期医療関係者研修会 講師 科学研究費助成事業研究グループへの専門的知識提供の講師 「NICU 入院中の子どもと家族への在宅移行支援と地域での支援活動(災害支援を含む)について」 平成 29 年度第 4 回沖縄県周産期医療関係者研修会 講師 教育研究業績一覧 Neonatal Care2013 10 月号特集 在宅での子どもの看取りケア 小児看護臨時増刊号 2012. 35 (8)小児看護と看護倫理一日常のケア場面での倫理的看護実践 こどもケア Vo1. 10 No. 5 児と家族に合わせた退院計画・退院調整 こどもケア Vo 1. 8 No. 3 NICU に長期入院している子どもとその家族の倫理的課題と対応
--	---

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	小阪 勝己
取得学位	精神保健学修士
担当科目	こころとからだのしくみⅡ 介護の基本Ⅲ
専門分野	介護・高齢者福祉
教育研究業績 (著書・学術論文等)	

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	末松 大喜
取得学位	修士(体育科学)
担当科目	体育
専門分野	体育科教育、測定評価、陸上競技
教育研究業績 (著書・学術論文等)	1. 保健体育科教員養成課程における模擬授業の特徴. 渡邊恵理里奈, 野田 耕, <u>末松大喜</u>. 九州共立大学研究紀要第 3 巻第 1 号:95-100, 2012 2. 男子大学生の移動運動トレーニングがスプリントパフォーマンスにおよぼす影響. 谷川 聡, 末松大喜, 藤井宏明, 尾懸 貢. 陸上競技研究 82: 16-27, 2010 3. 一流短距離選手の疾走動作の特徴-第 11 回世界陸上競技選手権大阪大会出場選手について-. 福田厚治, 貴嶋孝太, 伊藤 章, 堀 尚, 川端浩一, <u>末松大喜</u>, ほか 5 名. 世界一流陸上競技者のパフォーマンスと技術. Pp.39-50, 2010 4. 男女短距離選手のスタートダッシュ動作. 貴嶋孝太, 福田厚治, 伊藤 章, 堀 尚, 川端浩一, <u>末松大喜</u>, ほか 5 名. 世界一流陸上競技者のパフォーマンスと技術. Pp.24-38, 2010 5. 短期間および短時間のジャンプトレーニングが小学校男子児童の疾走能力に及ぼす影響. 荻山靖, 遠藤俊典, <u>末松大喜</u>, 尾懸 貢, 陸上競技研究 80: 35-43, 2010 6. マーク走を用いた走運動学習が小学校 6 年生児童の疾走能力に及ぼす影響. <u>末松大喜</u>, 西嶋尚彦, 尾懸 貢. スポーツ方法学研究 22(2):185-188, 2009 7. 世界と日本の一流短距離選手のスタートダッシュ動作に関するバイオメカニクス分析—特にキック脚動作に着目して—. 貴嶋孝太, 福田厚治, 伊藤 章, 堀 尚, <u>末松大喜</u>, ほか 6 名. 陸上競技研究紀要第 4 巻内, 日本陸連科学委員会研究報告第 7 巻陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2007:56-66, 2008 8. 男子一流短距離選手のキック動作の特徴. 福田厚治, 伊藤 章, 貴嶋孝太, 川端浩一, <u>末松大喜</u>, ほか6名. 陸上競技研究紀要第 4 巻内, 日本陸連科学委員会研究報告第 7 巻陸上競技の医学サポート研究 REPORT2007: 67-71, 2008 9. ハンマー投げにおける世界一流選手と日本一流選手のバイオメカニクスの分析. 藤井宏明, 大山下圭悟, 田内健二, 持田 尚, 遠藤俊典, <u>末松大喜</u>, 大宮真一. 陸上競技研究紀要第 4 巻内, 日本陸連科学委員会研究報告第 7 巻陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2007:128-132, 2008 10. 男子小学生における疾走能力の指数と疾走中の接地時点の動作との因果構

	造. <u>末松大喜</u>, 西嶋尚彦, 尾懸 貢, 体育学研究 53:363-374, 2008 11. 小学生における形態および走能力の差異を考慮した走動作学習に関する研究. <u>末松大喜</u>. 筑波大学修士論文. 修乙第 7502 号. 1-75, 2007
--	--

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	陶山 三千也
取得学位	体育学修士
担当科目	体育
専門分野	体育方法学、水泳、パラ水泳、OWS(オープンウォータースイミング)
教育研究業績 (著書・学術論文等)	【著書】 ・子どものこころとからだを育てる 保育内容「健康」(第2版) 平成28年4月 教育情報出版 共 著 【学術論文】 1. 障害者水泳の現状と課題 … (I) —全国障害者スポーツ大会について— 平成23年3月 西日本短期大学 総合学術研究論集 創刊号 2. 禁煙教育の授業実践に関する研究 平成23年3月 西日本短期大学 総合学術研究論集 創刊号 3. シルバー人材センター登録者の肥満度と生活習慣に関する調査 平成23年3月 西日本短期大学 総合学術研究論集 創刊号

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	瀬川 綾
取得学位	社会福祉学士、看護学修士
担当科目	介護の基本Ⅴ 介護の理論と技術
専門分野	認知症ケア
教育研究業績 (著書・学術論文等)	・高齢者の就労意欲を支える介護助手導入の実態。 日本リハビリテーション看護学会. 第35回学術大会. 2023. (最優秀発表賞受賞) ・通所介護における高齢介護助手の効果 ー介護職員・介護職以外の職員・高齢者・利用者の立場からー 日本介護福祉士会. 第30回全国大会. 2023. ・通所介護における高齢者の介護助手導入の実態。 九州看護福祉大学看護福祉学研究科修士論文. 2024.

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	豊永 亨輔
取得学位	精神保健学修士（九州看護福祉大学）
担当科目	教育相談（カウンセリングを含む）
専門分野	スクールカウンセリング，教育相談
教育研究業績 （著書・学術論文等）	論文 1.（単著）援助チームで取り組んだ不登校の高校生の事例ー父親の役割回復とシステムズ・アプローチの視点を取り入れてー，学校教育相談研究，23，11-17，2009. 著書 1.（単著）特集1「若い先生に教育相談の魅力を伝える」チーム援助の実践を通して教育相談の魅力を伝える，月刊学校教育相談（ほんの森出版），25(12)，8-11，2011. 2.（単著）特集1「新年度，やる気を盛り上げ，キープする工夫」やる気を支える四つの要因を踏まえて授業を組み立てる，月刊学校教育相談（ほんの森出版），26(5)，16-19，2012. 3.（単著）特集2「かかわりをもう一步深める学びのヒント」システムズ・アプローチをベースにした学校教育相談の試み，月刊学校教育相談（ほんの森出版），26(10)，48-51，2011. 4.（単著）特集2「別室登校からの教室復帰をどうサポートするか」支援スタッフのコラボレーションで教室復帰をサポート，月刊学校教育相談（ほんの森出版），27(12)，38-41，2013. 5.（単著）特集2「困難な事例のケース会議，突破口を開くヒント」チーム会議とコーディネーション会議で取り組みを組織化，月刊学校教育相談（ほんの森出版），28(13)，36-39，2014. 6.（単著）特集1「かかわり続けるモチベーションをどう保つか」やりたいという内的欲求に従って行動する，月刊学校教育相談（ほんの森出版），30(1)，18-21，2016. 7.（単著）特集「心のケアの準備 どこでも起こり得る大災害に備えて」熊本地震における心のケア どんな準備をしていて，どう対応したか，月刊学校教育相談（ほんの森出版），30(12)，8-15，2016. 8.（単著）特集1「日々の自分を支える，この言葉」花紅柳緑，月刊学校教育相談（ほんの森出版），32(1)，20-21，2018. 9.（単著）特集1「子どもに届ける『ちょっといい話』の集め方，伝え方」ちょっといい話を通して行動規範を伝える，月刊学校教育相談（ほんの森出版），33(1)，19-21，2019.

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	二科 安三
取得学位	医学博士
担当科目	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
専門分野	分子生理学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	・「ビタミン総合辞典のⅡ．水溶性ビタミン B2 2.3 補酵素作用と作用機構」(2010)ビタミン総合辞典(pp.190-196)編集：日本ビタミン学会、朝倉書店 ・”Interaction between NADH and electron-transferring flavoprotein from <i>Megasphaera Elsdenii</i>”(2013)<i>J.Biochem</i>,153(6),565-572 ・“FT-IR spectroscopic studies on the molecular mechanism for substrate specificity /activation of Medium-chain acyl CoA dehydrogenase“(2009)<i>J.Biochem</i>.146(3),351-356 ・“Identification of the C=O stretching Vibrations of FMN and peptide backbone by ¹³C-labeling of LOV2 domain of adiantum phytochrome3”(2006)<i>Biochemistry</i>45(51),15384-15391 ・”Structural modulation of 2-enoyl-CoA bound to reduced acyl—CoA dehydrogenases:a resonance Raman study of catalytic intermediate”(1995)<i>J.Biochem</i>.117(4),899-8008

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	福泉 忠興
取得学位	博士（歯学）
担当科目	薬理学
専門分野	薬理学
教育研究業績 （著書・学術論文等）	論文： 歯髄鎮静と新しい鎮静薬作用点 （福岡歯科大学学会雑誌 Vol.26 No.4 December 1999） Involvement of P/Q-type voltage-dependent calcium channels in the streptozotocin-induced hyperalgesia in mice （Japanese Journal of Oral Biology Vol.45 No.1 February2003） Spinal sensitization mechanism in vincristine-induced hyperalgesia in mice （Neuroscience Letters 343 2003） Spinally delivered N-, P/Q- and L-type Ca-channel blockers potentiate morphine Analgesia in mice （Life Sciences 73 2003） Molecular and immunohistochemical studies in expression of voltage-dependent Ca(2+) channels in dorsal root ganglia from streptozotocin-induced diabetic mice （Life Sciences 79 2006） 著書： 歯科衛生士国試対策集 2005 年度対応 第1～13 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2006 年度対応 第1～14 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2007 年度対応 第1～15 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2008 年度対応 第1～16 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版

	歯科衛生士国試対策集 2009 年度対応 第 1～17 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2010 年度対応 第 1～18 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2011 年度対応 第 1～19 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2012 年度対応 第 1～20 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2013 年度対応 第 1～21 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2014 年度対応 第 1～22 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2015 年度対応 第 1～23 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2016 年度対応 第 1～24 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2017 年度対応 第 1～25 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2018 年度対応 第 1～26 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2019 年度対応 第 1～27 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2020 年度対応 第 1～28 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2021 年度対応 第 1～29 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版
--	---

	歯科衛生士国試対策集 2022 年度対応 第 1～30 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2023 年度対応 第 1～31 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版 歯科衛生士国試対策集 2024 年度対応 第 1～32 回全重要問題解説集 歯科衛生士国試対策研究会編（担当：薬理学） クインテッセンス出版
--	---

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	藤崎 道子
取得学位	修士（スポーツ健康科学）
担当科目	ダンス 体操
専門分野	健康づくり実践・健康教育・運動指導者育成・心身健康学
教育研究業績 （著書・学術論文等）	1）健康運動実践指導者講習会及び実技認定試験における講師、試験官 2）フィットネス指導者向け教育プログラム開発 2015年、7月アメリカにて行われる WORLD FITNESS CONVENTION 《IDEA》でプログラム発表。 3）運動指導者向け教育プログラム講習会講師（日本フィットネス協会） 4）グループ・フィットネス・インストラクター（GFI）資格取得のための 講習講師及び試験官（日本フィットネス協会） 5）健康運動指導士単位認定講習会講師

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	藤原 大樹
取得学位	人間環境学修士
担当科目	スポーツ心理学 発育発達論
専門分野	運動・スポーツ心理学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	1. アクティブ・チャイルド 60min.-子どもの身体活動ガイドライン-, 担当部分:「第6章 活動レベルを高める動機づけ 具体的介入方法 Topic11 小学校の環境づくり」(担当箇所 pp.168)、株式会社サンライフ企画、2010年4月 2. 藤原大樹、山崎先也、徳永幹雄(2011):「生活習慣病予防スポーツ」授業における生活習慣及び心理的健康指標の分析. 福岡医療福祉大学紀要8号 3. 藤原大樹(2019):大学生の体力と身体的自己知覚がレジリエンスに及ぼす影響. 保健医療経営大学紀要11号 4. 藤原大樹、水月晃、増村雅尚、阪本達也、入部裕郁(2021):コロナ禍における遠隔型体育授業は大学生の運動行動を促進するのか. 崇城大学紀要第46巻

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	府内 勇希
取得学位	博士（体育学）
担当科目	運動学
専門分野	運動生理学、トレーニング科学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	【著書】 - アクティブな生活をととした“幸福を求める生き方”－ライフ・ウェルネスの構築を目指して－（2018）株式会社ミライカナイ. - 運動とスポーツの生理学（改訂4版）.（2020）市村出版 【論文】 - 競泳選手の有酸素性能力.（2011）西日本短期大学総合学術論集，創刊号 - 全身泳および局所泳における Anaerobic Swimming Capacity の検討.（2012）西日本短期大学総合学術論集，第2号 - 長距離泳者と短距離泳者の critical swimming velocity の決定.（2013）水泳水中運動科学，第16号 - 健康スポーツコミュニケーション学科における魅力ある学科づくりをめざした教育の向上・充実に関する検討.（2014）西日本短期大学総合学術論集，第4号 - 競泳選手のインターバルトレーニングにおける Critical Stroke Rate の活用.（2016）水泳水中運動科学，第19号 - Physiological responses and swimming technique during upper limb critical stroke rate training in competitive swimmers. (2019) Journal of Human Kinetics, 70. - 競泳のクロールにおけるトレーニング強度指標としての critical swimming velocity と critical stroke rate の検証とその応用.（2020）博士論文，中京大学大学院体育学研究科（乙第65号） - Physiological responses and stroke variables during arm stroke swimming using critical stroke rate in competitive swimmers. (2022) Sports, 10. 【学会発表】 - 局所泳における critical swimming velocity の検討.（2008）九州体育・スポーツ学会年次大会（久留米大学）

	• 競泳競技における記録の変遷とその背景. (2010) 九州体育・スポーツ学会年次大会シンポジウム (鹿児島女子短期大学) • Is critical stroke rate effective as an index of interval training in competitive swimmers? (2014) XII International Symposium on Biomechanics and Medicine in Swimming (Australian institute of sports) • How should competitive swimmers perform power swim-training ? (2014) 19th annual Congress of the European College of Sports Science (VU University Amsterdam) • スポーツ経験が社会人基礎力に与える影響. (2015) 九州体育・スポーツ学会年次大会 (西九州大学) • 競泳における Critical Stroke Rate を用いたプル泳トレーニングの有効性. (2016) 九州体育・スポーツ学会年次大会 (長崎国際大学) • ストロークレートに基づいたプル泳トレーニングの特徴. (2018) 九州体育・スポーツ学会年次大会 (熊本学園大学) • 女子自由形短距離種目の呼吸回数とレースパフォーマンスの関係. (2020) 日本コーチング学会第 31 回学会大会 (鹿屋体育大学) • ランニング運動においてピッチをコントロールすることが生理的反応とストライドに与える影響. (2022) 日本体力医学会南九州地方会第 4 回大会 (熊本市) • 投球・送球イップスを呈する野球選手における投球動作時の心理状態. (2022) 日本体育・スポーツ・健康学会第 72 回大会 (順天堂大学) • The relationship between breaths taken and swimming performance in a 50m freestyle race. (2023) 28th annual Congress of the European College of Sports Science (Palais des Congrès) • Training intensity and stroke variables during interval training at critical swimming velocity in national-level swimmers. (2023) 14th International Symposium of Biomechanics and Medicine in Swimming (Leipzig University) • 競泳の critical swimming velocity を用いたインターバルトレーニングにおける休息時間の設定に関する研究. (2024) 日本コーチング学会第 35 回学会大会 (朝日大学)
--	--

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	星野 輝彦
取得学位	薬学博士
担当科目	環境衛生学
専門分野	臨床薬学、環境感染学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	(論文業績) 1) 中小規模病院における抗菌薬適正使用支援チーム専従薬剤師へのコンサルテーションに関する記述的研究 下原朋美、星野輝彦 日本環境感染学会誌、38、251－256(2023) 2) 人工膝関節全置換術の周術期出血に対するトラネキサム酸の静脈内および関節腔内併用投与法の有効性 原田史織、森崎崇文、星野輝彦、杉山留美子 日本病院薬剤師会雑誌、57、335－339(2021) 3) ベンゾジアゼピン系睡眠薬の処方抑制に向けた院内採用削減と代替薬への切り替えに関する実績調査 下田賢一郎、星野輝彦、森崎崇文、塩津和則、杉山留美子 日本病院薬剤師会雑誌、56、759－766(2020) 4) ケアミックス病院における大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症検査率および骨粗鬆症治療率向上に対する骨粗鬆症リエゾンサービスの導入効果 森崎崇文、星野輝彦、塩津和則、村山卓也、斎藤幸子、村尾緑、友利聖美、久保皇之、高井聖子、清田克彦 日本骨粗鬆症学会雑誌、5、259－265(2019) 5) 酸化マグネシウム服用中に血清マグネシウム値だけでなく血清カリウム値も上昇し完全房室ブロックを誘発した1症例 木村美紗子、星野輝彦、水野雄二、米満弘一郎、塩津和則 日本病院薬剤師会雑誌、55、514－518(2019) 6) DPP-4阻害薬からデュラルグルチドへ切り替え後血糖値、ヘモグロビン A1c が改善した2型糖尿病患者4症例 下田賢一郎、星野輝彦、森崎崇文、塩津和則、水野雄二 薬学雑誌、138、1323－1327(2018) 7) 人工膝関節置換術術後に対する NSAIDsと少トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠併用療法の有効性および安全性 森崎崇文、星野輝彦、下田賢一郎、塩津和則、清田克彦 日本病院薬剤師会雑誌、54、47－51(2018) 8) 臨床検査課との連携による血液検査値異常の早期発見と処方提案の有用性 木村美紗子、星野輝彦、塩津和則 日本病院薬剤師会雑誌、53、1367－1371(2017)(論文業績)

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	本田 沙織
取得学位	・ 学士（健康科学） ・ 修士（学術）
担当科目	体育
専門分野	体育、バスケットボール
教育研究業績 （著書・学術論文等）	共著 岡山県離島地域の小中学生の体力に関する調査 飯田智行、<u>本田沙織</u>、小野寺昇、川上雅之 岡山体育学研究 第21号 pp. 7-13. 2014. 3 共著 ウェーブストレッチリングを用いたストレッチの効果 <u>本田沙織</u>、飯田智行、楠本一樹、枝松千尋、川上雅之 岡山体育学研究 第21号 pp. 15-22. 2014. 3 単著 離島地域への保健体育の教育支援に関する研究 修士論文 共著 離島地域における学校体育の現状について ―小学校及び中学校の場合― <u>本田沙織</u>、飯田智行、川上雅之 岡山体育学研究 第22号 pp. 27-34. 2015. 1

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	松村 勇治
取得学位	体育学（学士）教育学（修士）
担当科目	スポーツ経営学
専門分野	スポーツ経営学・テニス競技
教育研究業績 （著書・学術論文等）	1. 中京大学 体育学部 体育学科 卒業（昭和 62 年 3 月） 2. 熊本大学大学院 教育学研究科修了（平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月） 修士論文 テニス競技中の体力の変化に関する研究 3. 全国障害者スポーツ大会 陸上コンディショニングコーチ (第 14 回～第 17・23 回) 4. 熊本県障がい者スポーツ指導員養成講習会(初級) 講師 (平成 29・30 年度・令和元・2・3・4・5 年度) 内容 安全管理 5. 宇城市テニス協会 事務局長（県民体育祭担当・選手） (平成 17 年 4 月～令和 4 年度) 6. 熊本県テニス協会 競技部 理事 普及部 普及スタッフ 7. 宇城ジュニアテニストレセン主催 30 名在籍（平成 14 年～現在） 8. 熊本県民体育祭（令和元年 9 月 14・15 日） 宇城地区大会 テニス競技 総合ディレクター 9. 令和 4 年 新春高校テニス合同練習会 講師 参加高校（熊本第一高校・玉名高校・東陵高校・天草高校 総勢 80 名） 10. 熊本市民スポーツフェスタ実行委員会 委員（R3 年度～R5 年度） 11. 全日本女子レスリング強化合宿熊本実行員会 委員 12. ドイツ競泳チーム熊本合宿実行員会 委員 13. パラアイスホッケー日本代表熊本強化合宿等実行員会 委員 14. くまもと障がい者スポーツ大会運営委員会 委員 15. 熊本障がい者スポーツ指導者協議会 監事 16. 日蒙スポーツ交流事業（平成 25 年 9 月 25 日～28 日） テニス担当 場所 モンゴル国 ウランバートル 17. 指定管理者申請（社会体育施設及び文化施設）（平成 18 年度～令和 5 年度） 所属学会 ・日本生涯スポーツ学会 ・日本体力医学会 ・幼少年体育指導士会 ・健康運動指導士会

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	ミナミ ウォール フィオナ
取得学位	ダラム大学文学学士号 ロイヤル・ソサエティオブアーツ学会 第二言語としての英語教育法資格
担当科目	英会話 I
専門分野	英語、英会話、医療英語
教育研究業績 (著書・学術論文等)	著書 ・ In The Driver`s Seat (Perceptia Press) ・ Escape the Classroom (Perceptia Press) ・ フィクションにみる食文化 (朝日出版社) ・ 映画で味わう食文化 (朝日出版社) ・ 愛のテーマで英語を学ぶ (朝日出版社)

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	三森 龍之
取得学位	医学博士（熊本大学）
担当科目	感染症学
専門分野	微生物学・寄生虫学
教育研究業績 （著書・学術論文等）	Anthropophilic phlebotomine sandfly <i>Lutzomyia</i> species and search for the natural <i>Leishmania</i> infections in an area endemic for cutaneous leishmaniasis in Ecuador. Yoshihisa Hashiguch, Eduardo A. Gomez, Lenin N. Velez, Nancy V. Villegas, Makoto Kubo, <u>Tatsuyuki Mimori</u>, Kazue Hashiguch, Hirotomo Kato Acta Tropica Volume 203, March 2020,105287 Andean cutaneous leishmaniasis(Andean-CL,uta) in Peru and Ecuador: the vector Lutzomyia sand flies and reservoir mammals. Hashiguchi Y,Gomez L EA ,Caceres AG,Velez LN,Villegas NV,Hashiguchi K,<u>Mimori T</u>,Uezato H,Kato H Acta tropica 178 264-275,2018 Andean cutaneous leishmaniasis(Andean-CL,uta) in Peru and Ecuador: the causative <i>Leishmania</i> parasites and clinic-epidemiological features. Hashiguchi Y,Gomez L EA ,Caceres AG,Velez LN,Villegas NV,Hashiguchi K,<u>Mimori T</u>,Uezato H,Kato H Acta tropica 177 135-145, 2018 Leishmaniasis in Ecuador:Comprehensive review and current status. Hashiguchi Y,Velez LN,Villegas NV,<u>Mimori T</u>,Gomez EAL,Kato H Acta tropica 166 299-315,2017 Geographic Distribution of <i>Leishmania</i> Species in Ecuador Based on the Cytochrome B Gene Sequence Analysis. Kato H,Gomez EA,Mrtini-RoblesL,Muzzio J,Velez L,Calvopiña M,Romero-Alvarez D,<u>Mimori T</u>,Uezato H,Hashiguchi Y PLoS neglected tropical diseases 10(7)e0004844,2016 動物由来感染症,スタンダード微生物学,文光堂, 2005 年,三森龍之 マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア：メディカルサイエンス：微生物検査学 近代出,2008 年,三森龍之 トリパノソーマ症（アメリカトリパノソーマ症/シャーガス病）ズーノーシスハンドブック,メディカルサイエンス社 2009 年,三森龍之 皮膚リーシュマニア症病変からの診断用病原体材料の採取法,寄生虫学研究、三恵社,2012 年,三森龍之他

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	宮園 博光
取得学位	博士(工学)
担当科目	教育方法・情報通信技術活用論
専門分野	音響認知心理学, 教育工学
教育研究業績 (著書・学術論文等)	(著書) 1. Auditory Plasticity -Listening with the Brain, 共著, The Danavox Jubilee Foundation, 平成 26 年 6 月 (学術論文等) 1. 英国と日本における ICT 教育の現状 -日英の教育システムの比較による次期学習指導要領への一考察 -, 単著, 「アドミニストレーション」第 14 巻 3・4 号, 熊本県立大学総合管理学会, 平成 21 年 3 月 2. Studies of pitch mechanisms based on perceptual learning, 共著, Proc. of International Symposium on Auditory and Audiological Research, 平成 25 年 8 月 3. Implications for pitch mechanisms of perceptual learning of fundamental frequency discrimination: Effects of spectral region and phase, 共著, Acoust. Sci. Tech. Vol. 34 (2013) No. 6, 平成 25 年 6 月 4. Perceptual learning of fundamental frequency discrimination: Effects of fundamental frequency, harmonic number, and component phase, 共著, Journal of the Acoustical Society of America 128(6), 平成 22 年 12 月 (教育実践記録等) 1. 新学習指導要領における ICT を活用した教育に関する一考察～球磨地区、八代市内中学校を事例とした「主体的・対話的で深い学び」の実践例を通して～, 単著, 熊本県立大学教職課程研究論集, 令和 2 年 3 月

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	山本 孝司
取得学位	博士（教育学）（早稲田大学）
担当科目	特別活動・総合的な学習の時間の指導法
専門分野	教育学（教育思想・哲学）
教育研究業績 （著書・学術論文等）	【著書】 1. 山本孝司『超越主義と教育—ブロンソン・オルコット思想研究序説』（現代図書、2011年） 2. （共著）『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導論—「生徒指導提要」に触れつつ』（あいり出版、2013年） 3. （共著）『教育の歴史と思想』（ミネルヴァ書房、2013年） 4. （共著）『新しい特別活動—理論と実践』（ミネルヴァ書房、2014年） 5. （共著）『はじめて学ぶ教育課程』（ミネルヴァ書房、2016年） 6. （共著）『はじめて学ぶ教職論』（ミネルヴァ出版、2017年） 7. （共著）『道徳教育の理論と実践』（大学教育出版、2018年） 8. 山本孝司『アメリカ進歩主義教育の源流—ブロンソン・オルコット思想研究』（早稲田大学出版部、2020年） 【学術論文】 1. 山本孝司・久保田治助・元田充洋「地域博物館の教育的機能に関する考察・玉名市歴史博物館「こころピア」における「親子ふれあい博物館」の実践を手掛かりに」『九州看護福祉大学紀要』vol.11、2009年、pp.21-32. 2. 山本孝司・久保田治助「『総合的な学習の時間』における『市民性』教育の可能性—〈子ども—大人〉・〈個—公〉の二項対立図式を超えて—」『九州看護福祉大学紀要』vol.12、2010年、pp.79-90. 3. 山本孝司・小畑千晴・デスマレス・エリック・安久津太一「自然体験学習の哲学再考—エディブル・スクールヤードに蘇る『より高い法則』—」『西南学院大学 人間科学論集』第19巻第2号、2024—pp.31-49.